

かけはし

赤の1組
～秋のダイナミックワールド号～

「秋のダイナミックワールド」において、赤の1組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけはし」は、本園Webサイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

園庭や大学キャンパス、山梨森林公園「金川の森」へ出掛け、紅葉した葉っぱや木の実を見つけるたびに、「秋見つけた!」と言いながら、色とりどりの“秋”を見つけてきた子どもたち。集めた自然物(木の実や落ち葉)を使って遊び始めました。1学期から楽しんできた遊びにも、“秋”の素材が加わり、一層盛り上がっています。

★ ドングリアクティビティからの『木の実ジャンケン』『福笑い』 ★

遠足で体験したことから始まった遊び。



いろいろな形や大きさのドングリを見つけたよ!

親子遠足で、パークガイドさんと「金川の森(ドングリの森)」を散策した子どもたち。翌日の幼稚園でも遠足で体験したドングリアクティビティで、遊び始めました。



「木の～実ジャンケン ジャンケン 木の実!」

「一番大きい木の実」「一番ツルツルの木の実」などお題を決めて…『木の実ジャンケン』。木の実の大きさ、質感を比べっこして楽しんでいます。



「ウサギさんのできあがり-!」

こちらは、秋の自然物を使って『福笑い』。「葉っぱでまゆ毛～」「ドングリ帽子でピアス!」と会話を弾ませながらつくって遊んでいます。

★ ドングリアクティビティからの『ドングリころころ』 ★

遠足で体験したことから始まった遊び。



「ドングリ、よく転がるね!」

遠足で、ドングリは木から地面に落ち、コロコロ転がってたどり着いたところで発芽していくことを教えていただいた子どもたち。



「ドングリの木の赤ちゃん、大きくなるといいね!」



「入った!!」

「ドングリがポンって穴に入るのが楽しい!」と、着地場所を決めて…ドングリをコロコロと自由に転がして遊び始めました。



「トンネルをつけたら楽しいかな?」

子どもたちのアイデアで、レーンにしたり、コースを増やしたりと、改良を重ねています。どの形のドングリがよく転がるかも試し始めています。

★ お店屋さん(チョコレート屋さん・クッキー屋さん) ★

秋の自然物を使ってどんな遊びをしたいか問いかけたところ、出てきた声から生まれた遊び。



「みんなが見つけてきてくれた秋の自然物を使ってどんな遊びをしたい?」と子どもたちに尋ねると、「チョコレートをつくりたい、ケーキ屋さんをしたい!」という声。そこで、身近な素材も用意して飾りつけ…たくさんのチョコレートやケーキが出来上がりました。



「いらっしやいませ-!」

「テイクアウトもできますよ!」

チョコレートやケーキができると、「いらっしやいませ!」「セットもおすすめです」とお店屋さんの元気な声が響くようになってきました。

★ 秋の工作コーナー ★

自由工作に、秋の自然物を取り入れられたことから生まれた遊び。



「マラカスみたい! 楽器になるね」

大学キャンパスに木の実拾いへ行ったとき、木の実や葉っぱを袋につめてお土産にしていた子どもたち。歩かたびに「シャカシャカ」音が!



「エノキの葉っぱって赤くてキレイ!」

園に戻って、身近な素材に入れてつくってみることに。振ると、「楽しい!」「こっちとこっち、違う音がする!」と、容器の素材によって音が違うことも発見。



「ママたちがしているかわいいアクセサリをつくりたい」と、ネックレスづくりもスタート。秋の自然物を使っていろいろな物をつくっています。今日は、何が出来るかな?

★ 病院ごっこ ★

ままごと遊びから生まれた遊び。



1学期からお医者さんごっこをしていた子どもたち。ぬいぐるみのお世話をしながら遊んできました。

「水分とってくださいね!」



「注射や“もしもし”するのがほしい」「お薬もあったらいい!」という声。ドングリを粉にしたり、皮を小さくしたりと薬づくりが始まりました。

「このお薬、あま〜いよ!」



「元気になる薬」「きれいになる薬」「痛いところが治る薬」「コロナにならない薬」など、いろいろな薬を調合中です。